第11回　みんなで学ぶ会

八千代台まちづくり協議会

活動紹介

2022/7/18

活動方針

事業方針

清掃活動や環境美化活動を継続していく事に加え、
『自分たちでできることからまちづくりを進める』
活動に取り組む

事業内容　（2021年度）

- ちょっとカラフルに
- ウォーカブルなまちづくり
- SDGｓ

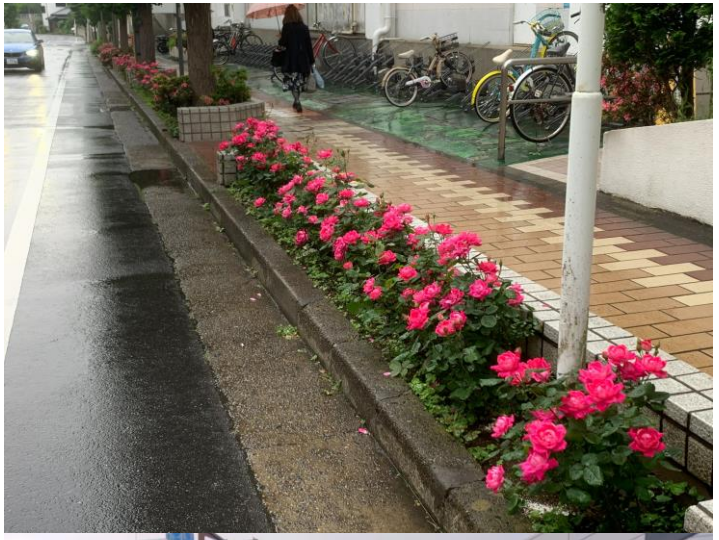
事業概要

（１）自分たちでできることを実行
・清掃活動：キレイキレイ大作戦（八千代台駅地下通路とロータリー清掃と草取り）
・まちの景観を良くする：バラの手入れと、八千代台駅東口及び西口に植栽を増やす
（２）専門職の協力を得て実行
・木製ベンチ４台を公園等に設置。デザインと色塗りは、地元中学校とコラボ
（３）市役所等に要請や意見交換
（４）まちづくりに関し情報収集
（５）ビジョンを作り上げていく：八千代台のビジョンを作り上げる
（６）「持続可能なまちづくり」をテーマに講演会とワークショップを開催
（７）広報活動と地域活動の実施
広報活動：フェイスブック、ホームページ、八千代台まちづくり協議会チャンネル
地域活動：「ボランティアカフェ」、「ふれあいフェスタ」参加・出店
地域の他の団体の活動に協力
（８）まちづくり協議会の運営
（９）今後の検討課題に取り組む
まちづくりに関する課題を協議する場を持つ

花と緑で、ちょっとカラフルに

きっかけは来訪者の一言⇒まちに色がない！

京成バラ園様等の協力を得て、
東口時計台下（2020年度）
東口ロータリー、エルム北側歩道（2021年度）
ゆうゆう通り歩道（2022年度予定）



ウォーカブルなまちづくり

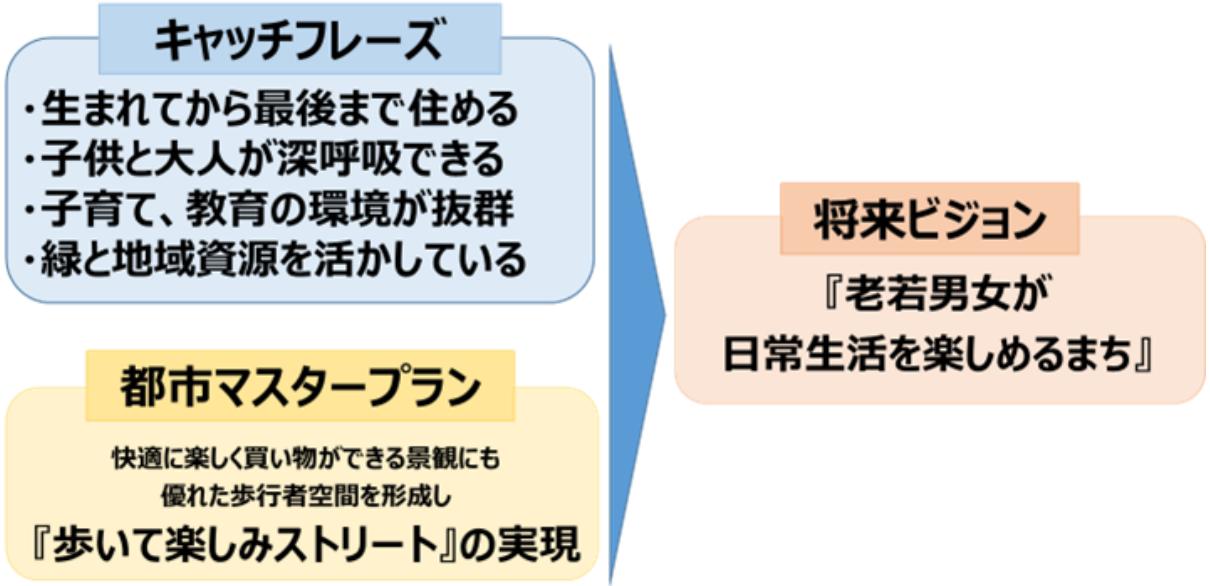
きっかけは小学生保護者アンケート

⇒**「まちの歩きやすさ」への不満が最大**

⇒この課題解決が「まちの快適性」向上に繋がる

政策立案と具現化のためのオンライン集中研修：官民連携まちづくり塾

⇒**官民合同チーム（八千代市まちづくり推進室、土木管理課、商工観光課）で参加**



ウォーカブルなまちづくり

●基本方針

・まちを時間や使用者によって柔軟に使う
・地域産業を産み出すプレーヤーの発掘
・不動産オーナーと連携した、空き不動産・駐車場の活用
・日常的な交流の場を創出する取組みの実施
・取組みを継続して地域の個性を創出

●ウォーカブル推進エリアの設定

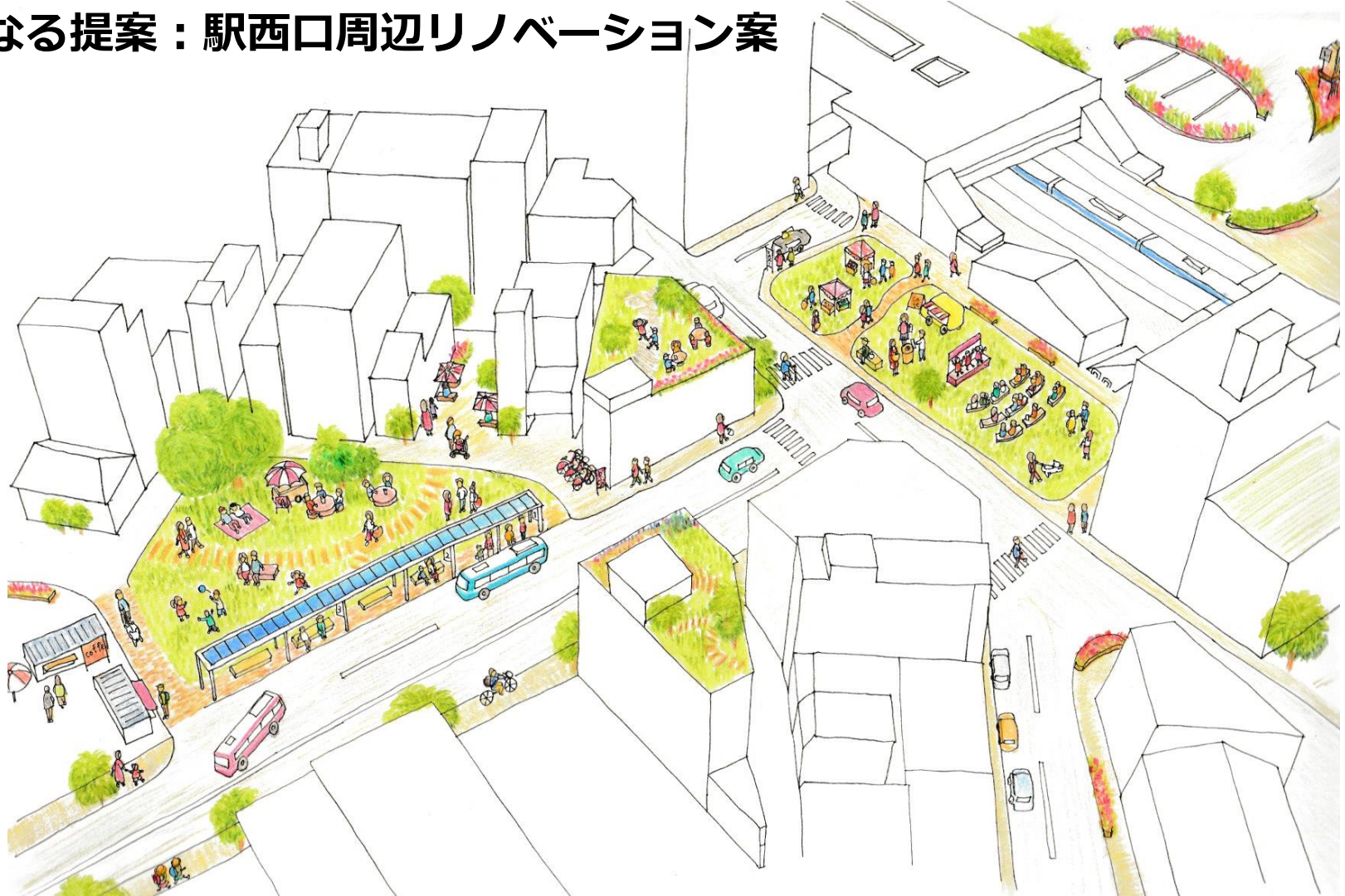
●具体的取組み手法

1．交流機会の創出
①『やちバル』地域交流会の開催
駅近くの小学校校庭を借用。若い世代やファミリー層の参加による多世代間との交流の場の創出やプレーヤー発掘を目的

2．社会実験の実施
やちバルで発掘したプレーヤーと企画立案し，下記の社会実験を実施
②定期的な『歩行者天国』の実施
③一方通行化等の交通規制の実施

3．駅周辺の整備方針の検討
社会実験の結果等を踏まえ、官民が協議しながら整備方針を検討

更なる提案：駅西口周辺リノベーション案



まちづくりはひとづくり

⇒将来を担う**若者との交流**、まちづくりへの参加のきっかけづくり
⇒廃棄予定だったベンチを再利用して公園や市民の森に設置予定
⇒デザインと色塗りを地元の八千代中と八千代台西中に依頼

現在市民ギャラリーに展示中